

認知症理解と治療の最前線

2020年時点で600万人以上、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年にはおよそ700万人に上ると推計(厚生労働省)されている認知症高齢者。そうしたなか、認知症基本法※1の成立や、アルツハイマー病治療薬「レカネマブ」の薬事承認と保険適用の開始など、2023年は認知症をめぐる動きに画期的な変化がみられた1年でした。

そこでこのセミナーでは、長年、認知症医療に携わっておられる講師から、「認知症基本法の持つ意味」「認知症の症状悪化を防ぐために必要なこと」「アルツハイマー病治療薬と、投薬を受ける前に知っ



ておきたいこと」など、最新の動きも交えてお話を伺います。認知症理解の“アップデート”につながるセミナーです！

※1 認知症の人が希望をもって暮らせるように国や自治体の取り組みを定めた法律。認知症の人や家族の意見を聞いたうえで、国の基本計画を策定することを義務付けている。また都道府県や市町村の計画策定においても、認知症の人や家族から意見を聞くことを努力義務としている。昨年6月14日に可決成立し今年1月1日より施行。

と き 6月9日(日) 午後3時~4時30分
 と ころ ドーンセンター 5階 大会議室2【裏面地図参照】

講 師 片山禎夫 片山内科クリニック理事長・院長、認知症学会専門医・指導医、認知症ケア学会理事
 広島大学医学部卒業、アルツハイマー病研究で同大学院博士課程を修了し、長年、認知症医療に携わる。2015年に倉敷でクリニックを開設。認知症来院者数は毎月400人に上る。全国での講演多数。NHKスペシャルや同eテレにも出演。2022年アルツハイマー病新薬に関する論文の中で先端医療機関の専門家の一人として記述されている。

定 員 90名 ※会場参加60名(申込先着順)、オンライン参加30名(申込締切6月4日)
 対 象 認知症に関心のある人々・家族、施設関係者など
 参 加 費 一般1000円、会員500円
 主 催・申 込 介護保険市民オンブズマン機構大阪(オーネット)

TEL06-6949-8192 FAX06-6949-9296
 〒530-0041 大阪市北区天神橋3-9-27 PLP会館3F



申込フォームはこちらから

後 援 大阪労働者福祉財団

第67回オーネットセミナー参加申込書			
氏名	(団体・施設名)		
参加方法 (いずれかに○を)	会場参加		
	オンライン参加	メールアドレス	
住所	〒		
TEL/FAX	TEL	FAX	

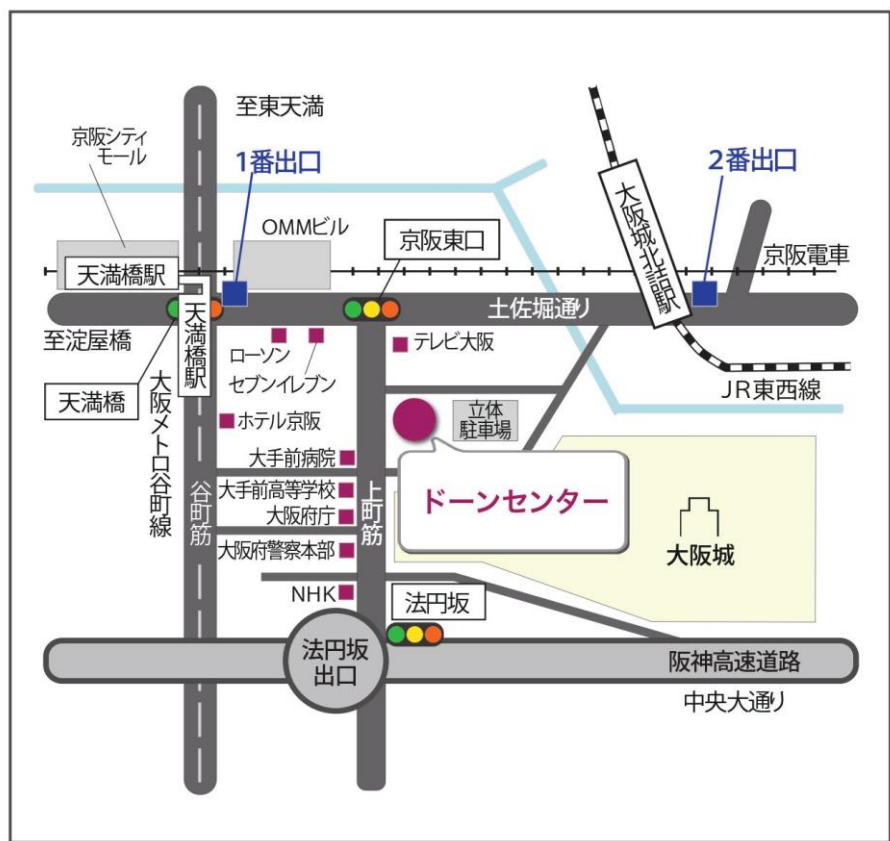
介護保険市民オンブズマン機構大阪(通称オーネット)とは

オーネットは2000年にできたNPO法人です。特養・有料老人ホーム・グループホームなどの介護施設をオンブズマンが2人で訪問(訪問時間は2時間程度)し、介護の現場を実際に見て、利用者の苦情・要望、第三者の立場から観察して気づいたことを、施設に伝えて気づきを促す活動を続けてきました。

在宅サービスと違って、施設サービスの場合、いったん入居してしまうと、「合わないから」と言って簡単に転居することはできません。そんな中で「自分らしさ」を失わないで暮らすには、第三者によるサポートが必要なのではないか…。施設介護の質の向上のために、「介護保険の隙間を埋める事業」を市民が担おう。それがひいては、将来、自分たちが「入りたいと思える施設」を増やすことにもつながる——。そう考えて活動を展開してきました。

コロナ禍の間もオンラインを活用して活動を続け、感染法上の類型が5類に移行した現在は、30か所以上の施設で訪問活動を再開しています。

20年以上にわたる継続的な活動が評価され、これまでに大阪弁護士会人権賞、日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞「実践ケア賞」、樋口恵子賞など、数多くの賞を受賞しています。



【ドーンセンター】大阪府立男女参画・青少年センター

大阪府中央区大手前1-3-49

- 大阪メトロ・京阪「天満橋」駅 ①番出口、東へ徒歩5分
- JR東西線「大阪城北詰」駅 ②番出口、土佐堀沿いに西へ徒歩7分